

## 要 望 書

### 1 古民家復元事業

現在進められている国登録有形文化財申請の作業については、この建物が明治時代に現在地へ移築された時やその後の改修において新たな部材が使用された可能性があり、「長久手市最古」という位置づけで歴史的価値のある建物とすることがふさわしいか疑問がある。また、家屋の著しい老朽化のほか周辺道路、敷地、配置等の立地条件があたえる利用方法に多くの問題が想定され、現在地での保存活用に甚だ疑問を感じるところである。特に借地であることは、投資効果の点から極めて不安定な要素であり、長期にわたる保存活用への疑問視、事業効果の稀薄性に対する懸念の意見が多数ある。

古民家は現在地での保存活用を進めるのではなく、デジタルアーカイブによる記録保存としその記録の公開、古戦場公園再整備案での部材の一部を再利用した資料館の建築などの再検討を進めることが肝要であり、調査等の作業内容を根本的に見直し、厳しい財政状況の下、身の丈に合った事業とすることを求める。

### 2 古戦場公園再整備事業

西側ゾーンに計画していた民俗資料館が未定となり、当初の「古戦場公園再整備基本計画」が大きく変更された。上記「古民家復元事業」内の提案でもある古民家の部材・構造を利用した建築物にて対応することを含め、民俗資料館の機能を有した設計にするよう再度検討を求める。

### 3 リンモテラス整備事業

事業の目的、スケジュール、財源確保を含め、再度その必要性を市民及び議会に説明すべきである。リンモテラス公益施設は、具体的に何をする施設であるか明確に示した後、施設の規模や構造を精査し設計することが最良と考える。

また、リンモテラス公益施設を最大限活用するためには、長久手らしさや地域の魅力を生かしたエリアマネジメントの再検討を求める。

上記3事業については、その進捗状況を逐次報告することとし、歳出の抑制を念頭に3事業の費用対効果がより高まるよう、さらなる一体的活用を視野に入れた、事業の再検討を要望する。

令和元年 月 日

長久手市議会 総務くらし建設委員会